

防災カードゲーム～このつぎなにがおきるかな？～

**背の高いブロック塀は、地震の揺れで、崩れたり・倒れたりする！
水害で、ドアの外に水がたまると入り口のドアが開かなくなる！**

「このつぎなにがおきるかな？」は、**地震や水害、津波、土砂災害が発生した時に起こる危険な状況**をイラストを用いてわかりやすく表現した、**防災カードゲーム**です。学校の防災教育の時間や休み時間、放課後にワイワイと遊びながら防災について**学び、防災力を身につける**ことを目指しています。

遊び方

4人位で遊ぶのがちょうど良いです。②B,C,Dのカードを混ぜて配ります

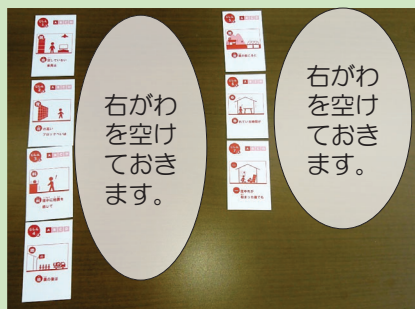
防災7ならべ

～なにがおきるかならべてみよう！～

●「7ならべ」と同じように遊びます。

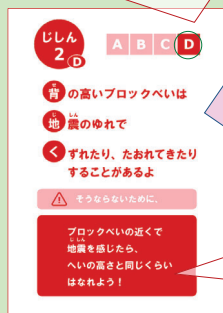
①最初にAカードをならべます

「これくらいならだいじょうぶかも」カードは使いません。



⑤最後はDカード

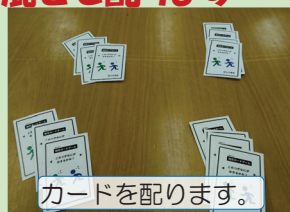
Dカードを出した人は、**「そうならないために、」**を読みます。



声に出して。
「ブロックべいの近くで、
地震を感じたら、
べいの高さと同じくらい
はなれよう！」

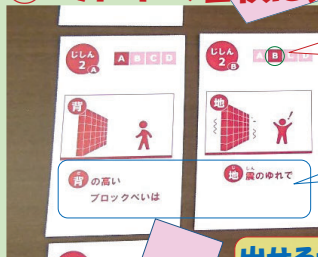


残りのカードを
混ぜます。



カードを配ります。

③Aカードの右横に、Bカードを出します

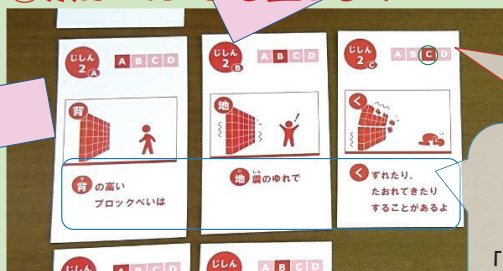


Bカードを持っていたら、同じ番号のAカードの右横に出します。
そのときに、絵の下の字をAからつづけて読みます。

声に出して。
「背の高いブロックべいは」、
「地震のゆれで」

出せるカードが、ない時は、**パス！！**
(パスは何度でもO.K.)

④次はCカードを出します



Cカードを持っていたら、同じ番号のBカードの右横に出します。
同じように絵の下の字をAから続けて読みます。

声に出して。
「背の高いブロックべいは」、
「地震のゆれで」、
「くずれたり、たおれてきたり
することがあるよ」

手元からカードが一番早くなくなった人が勝ち！

災害発生時の危険な状況等を、声に出しながら遊ぶことで、
そうならないための**備えや行動を身につけます。**

対象年齢

小学生以上：特に4年生以上は自分達だけで遊べるように、
中学生以上は確実に理解できるように、
を想定して製作しています。

※漢字の用法等も小学4年生で読解できるようにしています。

この他、
とるカード！（防災かるた）
だいじょうぶでは ありません！
（防災ババめき）
等で遊べます。
新しい遊び方を考えてみよう。

カードの構成

- ・災害時に遭遇していけない状況に至る流れ（3枚のカード）
- ・そうならないための備えや行動（1枚のカード）

じしん編

じしん 2 A

背の高いブロックべいは

じしん 2 B

地震のゆれで

じしん 2 C

ずれたり、たおれてきたりすることがあるよ

じしん 2 D

背の高いブロックべいは

地震のゆれで

ずれたり、たおれてきたりすることがあるよ

そうならないために、

ブロックべいの近くで地震を感じたら、べいの高さと同じくらいはなれよう！

災害時の危険な状況のストーリー

災害で大変なコトにならないためのヒント

一つのストーリーは4枚組
ストーリーは七つ

すいがい編

たいふう編

つなみ編

どしゃさいがい編

入手方法

防災カードゲーム「～このつぎなにがおきるかな？～」は、HPよりダウンロードできます。

国総研 カードゲームで 検索

ダウンロードしたデータは、市販の名刺マルチカード等に印刷して使用してください。
さまざまなサイズのデータがあります。

効果

防災カードゲーム「～このつぎなにがおきるかな？」を用いて小学4年生を対象にしたモデル授業を実施しました。その結果、地震時行動に対する認識向上が確認されました。本カードゲームによる防災単元と連動した出前講座も行っています。

質問：料理中に地震を感じたら、**急いで火を止める。**

（地震時に火元に近づくと火傷の危険があります。ガスやIHは、揺れを感知して自動で停止します。そのため、この行動は「正しくない」が正解。

ゲーム前の正解者：9.5%

ゲーム後の正解者：40.3%

お問合せ

防災カードゲーム「～このつぎなにがおきるかな？～」は、HPよりダウンロードできます。

本件に関するお問合せ先：

国土技術政策総合研究所（こくそうけん）企画課 長屋 和宏（ながや かずひろ）

TEL 029-864-4090

E-mail nagaya-k28p@mlit.go.jp